



マーチィ's ROOM

マーチィに訊け!

まちづくりライブラリーからおすすめの一冊 県都市計画課で貸し出しできます!
『まちづくり学への招待 どのようにして未来をつくっていくか』株式会社オオバ技術本部 著(東洋経済新報社)



今号のおすすめ
ライブラリー
こちら!



まちづくりに取り組むプロである建設コンサルタントが出版したこの1冊。みなさんもいろいろな場面で『まちづくり』ということばを聞くことが増えたかと思います。この本は、過去のまちづくりの歴史から、まちづくりの知識、具体的な事例までを、教科書のように分かりやすく、厚さ1センチちょっとの中にまとめています。『まちを計画する人はまちを見て、まちを歩く、色々なまちの事例を知ることや経験が重要』『既存のまちを改善していくには地域の意見を聞き地域の課題を解決していく』『まちづくりは、まちに人がいて住み続ける限り終わりのない取り組み』など、ぽんぽんと出てくるキーワードに納得し、読み進めることができます。

まちづくりの担当になった方、これから『まちづくり』に携わるかたにもオススメです。2年目以降の方にも、知識を再確認できる内容。まちづくりへの興味を深める一冊となっています。

マーチィ VOICE

●ファシリテーターの紹介●

桐生市 都市計画課 柳 ジョージ 博志



柳 博志さん(左から5番目)



講座の様子

私は、元まっちい～ズのジョージでございます。人事交流で群馬県にいた平成27年度に「パートナーネットワーク講座」を受講し、群馬県まちづくりファシリテーターに認定していただき、念願の大家ファミリーの一員となることができました。「入門編」、「発展編」、「応用編」の計3回(6日間)の修行?(メインは夜の部??)に耐えた者だけがファミリーに入ることを許されます。

私の場合、幸運なことに業務の都合で、「応用編」の4日後には「実践編」で、実際にファシリテーターをさせて頂く機会がありました。自治体職員が対象のワークショップのため参加者の協力もあり、スムーズに進行することが出来ましたが、それでも、ファシリテーターという役は難しく、限られた時間のなかで、話が脱線することなく、参加者全員の引出しを強引に開けながら意見をまとめることは大変でしたが、とてもよい経験となりました。

「パートナーネットワーク講座」では、座学やワークショップの運営手法を学び、実際に現地調査をし課題解決をする盛り沢山の内容となっており、まちづくりに必要な企画力・マネジメント力を養うことができます。講座で習得する知識や技術は、一般の業務でも役に立つものが多いため、興味のある方はぜひ参加してください。

マーチィの掲示板 新連載が始まりました!

今号から始まりました“あの記事は今”。5ページに新連載として掲載しましたが、ご覧いただけましたでしょうか。まちづくりを考える情報誌“おっ!!まっちい～”は、今年度2017年3月に記念すべき100号を迎えます。そこで、今までの記事を振り返ってみることになりました。過去に取り上げた、たくさんの記事の中から、その後どうなっているのか、おっ!!まっちい～担当者が気になった記事を“あの記事は今”として順次、掲載させていただきます。

記念すべき第1回は『いせさき街並み研究会』さんに寄稿をお願いしました。2011年5月1日(Vol.65)に取り組みを紹介していただき、その後も活発にまちづくりに貢献し続けている団体です。昨年は『群馬県まちづくり功労者表彰』、そして今年には『まちづくり月間まちづくり功労者国土交通大臣表彰』と、功績を表彰されました。まちづくりに関わる方に、参考になる事例だと思います。

次号以降につきましては、奇数号が帝京大学のみなさんの“観光まちづくり最前線 地域を歩くレポート”、偶数号が“あの記事は今”と交互に隔号連載の予定です。不定期連載にならないよう、過去に“おっ!!まっちい～”に記事を寄稿していただいたみなさま、ぜひぜひご協力をお願いいたします。

